

1. 建設投資の概況

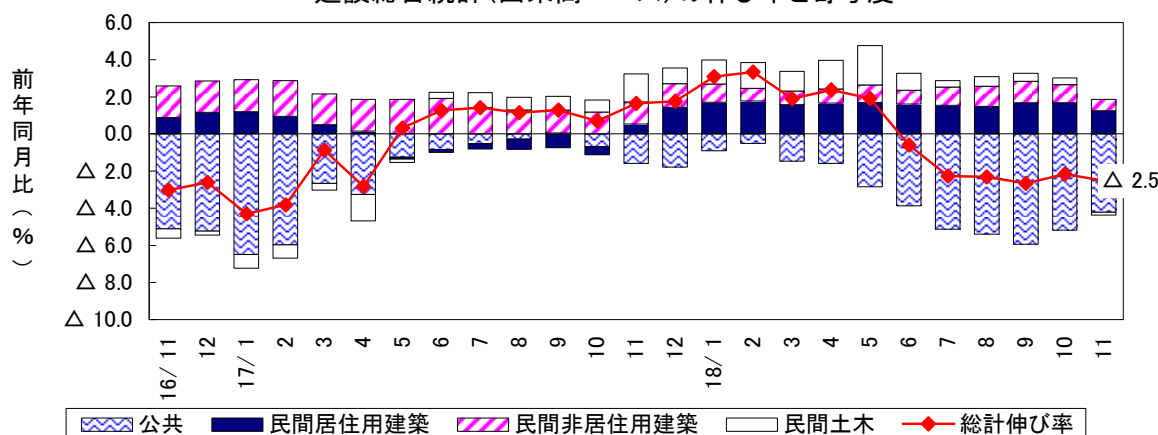
(1) 建設総合統計（出来高）

11月の建設総合統計を出来高で見ると、全体で4兆9,409億円と前年同月比2.5%減少した。

公共は、建築が2,365億円（前年同月比10.0%減）、土木が1兆5,564億円（同10.8%減）となり、全体では1兆7,929億円（同10.7%減）となった。

民間は、建築が2兆5,934億円（前年同月比3.8%増）、土木が5,547億円（同1.3%減）となり、全体では3兆1,480億円（同2.8%増）となった。

建設総合統計（出来高ベース）の伸び率と寄与度



(単位：億円)

年度年月	区分	総計	民間	建築		土木	公共
				居住用	非居住用		
年	15年度	553,431	317,379	257,091	182,294	74,798	236,052
	16	529,330	326,160	269,803	186,261	83,542	203,170
	17	536,080	338,704	278,771	188,528	90,242	197,376
月	18年 8月	43,066	30,658	25,644	17,376	8,268	12,407
	9	45,867	31,450	26,080	17,608	8,472	14,416
	10	48,532	31,876	26,418	17,811	8,607	16,656
	11	49,409	31,480	25,934	17,553	8,381	17,929

(前年比・%)

年	15年度	△ 6.3	0.4	0.1	△ 0.2	0.9	1.7	△ 14.1
	16	△ 4.4	2.8	4.9	2.2	11.7	△ 6.5	△ 13.9
	17	1.3	3.8	3.3	1.2	8.0	6.3	△ 2.9
月	17年 11月	1.6	5.6	3.6	1.6	8.0	15.5	△ 3.8
	12	1.8	6.2	5.8	4.4	8.7	8.3	△ 4.2
	18年 1月	3.1	7.0	5.7	5.3	6.5	13.5	△ 2.1
	2	3.3	6.6	5.1	5.5	4.2	13.5	△ 1.2
	3	1.9	5.9	5.1	5.2	4.8	8.8	△ 3.5
	4	2.4	6.3	4.6	4.7	4.4	14.4	△ 4.3
	5	1.9	6.8	4.5	4.3	5.0	19.0	△ 9.5
	6	△ 0.6	4.7	4.1	4.1	4.0	8.0	△ 12.7
	7	△ 2.3	4.2	4.4	4.0	5.4	2.9	△ 16.4
	8	△ 2.3	4.6	4.6	3.9	6.2	4.7	△ 16.1
	9	△ 2.7	5.2	5.4	4.7	7.0	4.0	△ 16.2
10	△ 2.2	4.9	5.2	4.9	6.0	3.4	△ 13.4	
11	△ 2.5	2.8	3.8	3.7	3.9	△ 1.3	△ 10.7	
累計	4月~11月	△ 1.2	4.9	4.6	4.3	5.3	6.3	△ 12.5

資料：国土交通省「建設総合統計」

注) 平成12年度以降のデータに対して、遡及して計算結果等の見直しを行っている。

(2) 公共機関からの受注工事

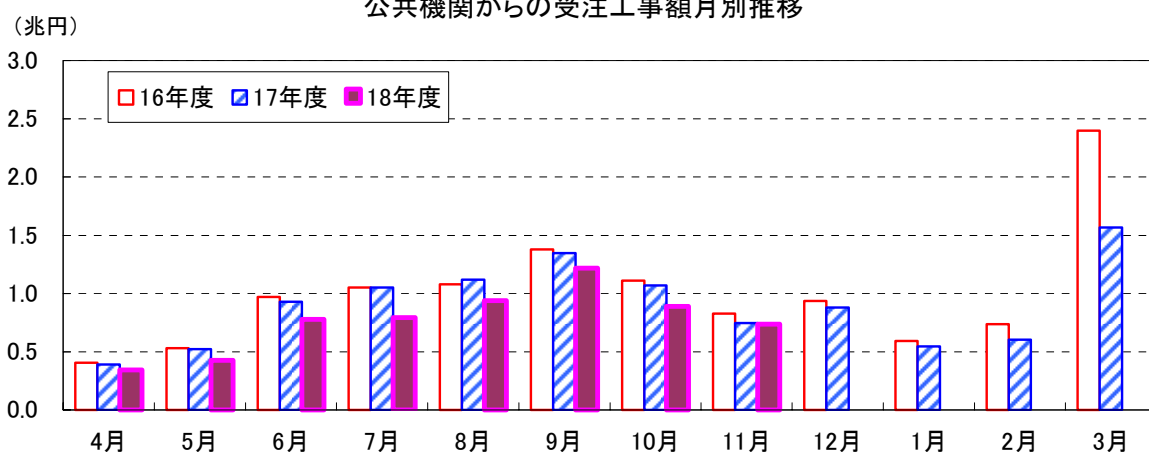
11月の公共機関からの受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は、国の機関2,089億円（前年同月比0.8%減、7ヶ月連続）、地方の機関5,281億円（同1.5%減、13ヶ月連続）となり、全体で7,369億円（同1.3%減、15ヶ月連続）となった。

工事分類別でみると、道路（前年同月比29.0%増、寄与度+8.0）、庁舎（同36.0%増、寄与度+0.9）等が増加し、農林水産（同30.5%減、寄与度-2.6）、下水道（同13.1%減、寄与度-1.9）等が減少した。

さらに、発注機関・工事分類別でみると、都道府県の農林水産（寄与度-1.6）、市区町村の下水道（寄与度-1.3）、市区町村の教育・病院（寄与度-1.3）、地方公営企業の上・工業水道（寄与度-1.3）等のマイナスの寄与度が大きい。

11月の大手50社調査では、公共工事は前年同月比5.3%増加（7ヶ月ぶり）した。

公共機関からの受注工事額月別推移

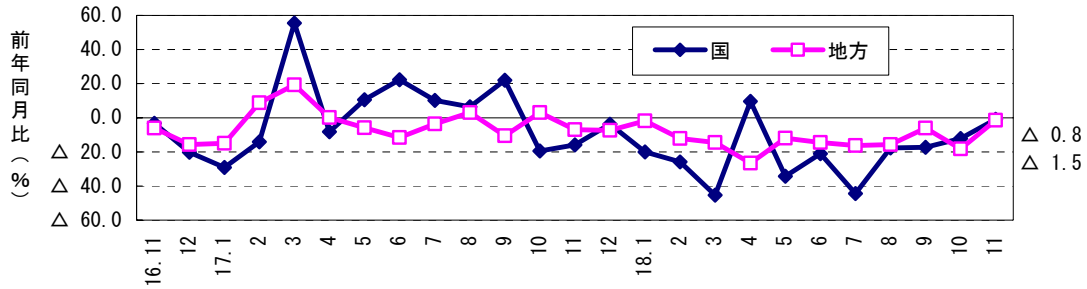


公共機関からの受注工事（前年比・%）

区分 年度年月		総計	国の機関			地方の機関				
			小計	国	国以外 の機関	小計	都道府 県	市区 町村	地方 公営 企業	その他
年 度	15年度	△ 17.5	△ 14.3	△ 18.8	△ 6.9	△ 19.0	△ 22.4	△ 15.0	△ 22.1	△ 20.5
	16	△ 5.6	4.1	7.9	△ 1.4	△ 10.4	△ 9.8	△ 10.9	△ 6.3	△ 15.2
	17	△ 10.2	△ 17.5	△ 23.3	△ 8.2	△ 6.1	△ 4.4	△ 10.4	19.6	△ 17.9
月 次	17年11月	△ 9.7	△ 15.8	4.4	△ 29.6	△ 7.0	△ 9.7	△ 15.1	39.9	39.8
	12	△ 6.3	△ 3.8	△ 9.5	3.9	△ 7.3	△ 4.5	△ 16.4	59.7	△ 42.4
	18年1月	△ 7.5	△ 20.0	△ 23.2	△ 15.5	△ 1.8	△ 2.2	2.8	7.0	△ 42.7
	2	△ 17.5	△ 25.9	△ 18.3	△ 36.5	△ 12.2	△ 13.3	△ 19.1	9.2	△ 4.3
	3	△ 34.4	△ 45.4	△ 56.3	△ 1.0	△ 14.5	△ 16.7	△ 26.7	26.6	16.0
	4	△ 12.1	9.7	7.7	14.5	△ 26.5	△ 40.0	△ 26.6	96.7	△ 42.7
	5	△ 18.4	△ 34.3	△ 35.8	△ 32.4	△ 11.9	△ 18.8	△ 13.4	7.1	97.4
	6	△ 16.4	△ 21.1	44.5	△ 62.4	△ 14.5	△ 26.0	△ 11.7	9.1	29.8
	7	△ 24.5	△ 44.4	△ 23.0	△ 63.2	△ 16.3	△ 8.6	△ 18.4	△ 33.6	△ 24.6
	8	△ 16.2	△ 17.7	△ 9.2	△ 27.3	△ 15.7	△ 29.1	△ 9.7	6.9	29.1
	9	△ 9.7	△ 17.3	△ 4.3	△ 34.6	△ 6.0	△ 7.8	△ 7.0	2.1	9.9
10	△ 16.7	△ 12.1	△ 20.3	1.1	△ 18.2	△ 10.1	△ 31.8	△ 12.3	27.3	
11	△ 1.3	△ 0.8	8.4	△ 10.2	△ 1.5	3.6	△ 2.8	12.4	△ 47.5	
累計	4月～11月	△ 14.7	△ 18.7	△ 5.4	△ 34.0	△ 13.0	△ 15.3	△ 14.3	△ 0.0	0.9

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

機関別受注工事額の推移



政府建設投資関連指標

(単位:億円)

	公共機関からの受注工事				前払請負額(※)	出来高(総合統計)	公的固定資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
16年度	120,127	43,227	76,900	30,111	137,354	203,170	240,064
17	107,719	35,538	72,181	24,738	129,622	197,376	240,022
17年Ⅳ期	26,937	7,420	19,517	5,521	30,614	60,494	72,520
18年Ⅰ期	27,166	12,010	15,156	7,779	25,759	54,167	67,019
Ⅱ	15,470	4,760	10,711	3,247	31,244	34,486	42,772
Ⅲ	29,494	7,782	21,712	5,200	34,177	37,725	47,957
18年6月	7,771	2,057	5,714	1,721	11,316	10,363	
7	7,937	1,701	6,236	1,089	11,165	10,901	
8	9,381	2,460	6,922	1,680	10,367	12,407	
9	12,175	3,621	8,554	2,431	12,646	14,416	
10	8,905	2,364	6,542	1,436	12,129	16,656	
11	7,369	2,089	5,281	1,426	9,071	17,929	

(前年比・%)

	公共機関からの受注工事				前払請負額(※)	出来高(総合統計)	公的固定資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
16年度	△ 5.6	4.1	△ 10.4	△ 0.9	△ 11.1	△ 13.9	△ 11.5
17	△ 10.2	△ 17.5	△ 6.1	△ 17.8	△ 5.6	△ 2.9	△ 0.0
17年Ⅳ期	△ 6.3	△ 13.4	△ 3.3	△ 7.6	△ 2.2	△ 3.3	1.8
18年Ⅰ期	△ 26.8	△ 40.3	△ 10.8	△ 43.2	△ 11.8	△ 2.3	1.3
Ⅱ	△ 16.0	△ 16.2	△ 16.0	△ 12.8	△ 11.7	△ 8.5	△ 5.2
Ⅲ	△ 16.2	△ 25.4	△ 12.3	△ 32.6	△ 9.7	△ 16.2	△ 13.4
17年11月	△ 9.7	△ 15.8	△ 7.0	△ 28.9	△ 0.9	△ 3.8	
12	△ 6.3	△ 3.8	△ 7.3	3.8	△ 4.7	△ 4.2	
18年1月	△ 7.5	△ 20.0	△ 1.8	△ 36.4	△ 6.8	△ 2.1	
2	△ 17.5	△ 25.9	△ 12.2	△ 12.5	△ 8.3	△ 1.2	
3	△ 34.4	△ 45.4	△ 14.5	△ 50.2	△ 15.4	△ 3.5	
4	△ 12.1	9.7	△ 26.5	12.6	△ 17.3	△ 4.3	
5	△ 18.4	△ 34.3	△ 11.9	△ 45.5	△ 0.7	△ 9.5	
6	△ 16.4	△ 21.1	△ 14.5	△ 2.6	△ 13.2	△ 12.7	
7	△ 24.5	△ 44.4	△ 16.3	△ 51.4	△ 4.3	△ 16.4	
8	△ 16.2	△ 17.7	△ 15.7	△ 18.2	△ 13.9	△ 16.1	
9	△ 9.7	△ 17.3	△ 6.0	△ 29.0	△ 10.6	△ 16.2	
10	△ 16.7	△ 12.1	△ 18.2	△ 30.2	△ 2.0	△ 13.4	
11	△ 1.3	△ 0.8	△ 1.5	5.3	△ 5.6	△ 10.7	
4月～11月	△ 14.7	△ 18.7	△ 13.0	△ 23.8	△ 9.0	△ 12.5	

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」、内閣府「四半期別国民所得統計速報」

北海道建設業信用保証(株)・東日本建設業保証(株)・西日本建設業保証(株)「公共事業前払保証統計」

注) 公的固定資本形成は、名目、原系列値。

(※) 公共機関からの受注工事が請負契約時点ベースでの請負契約の全体額を計上しているのに対し、前払請負額は前払保証契約時点ベースでの前払保証の対象となる請負金額を計上している等の理由により、必ずしも両者の傾向は一致しない。

(3) 住宅

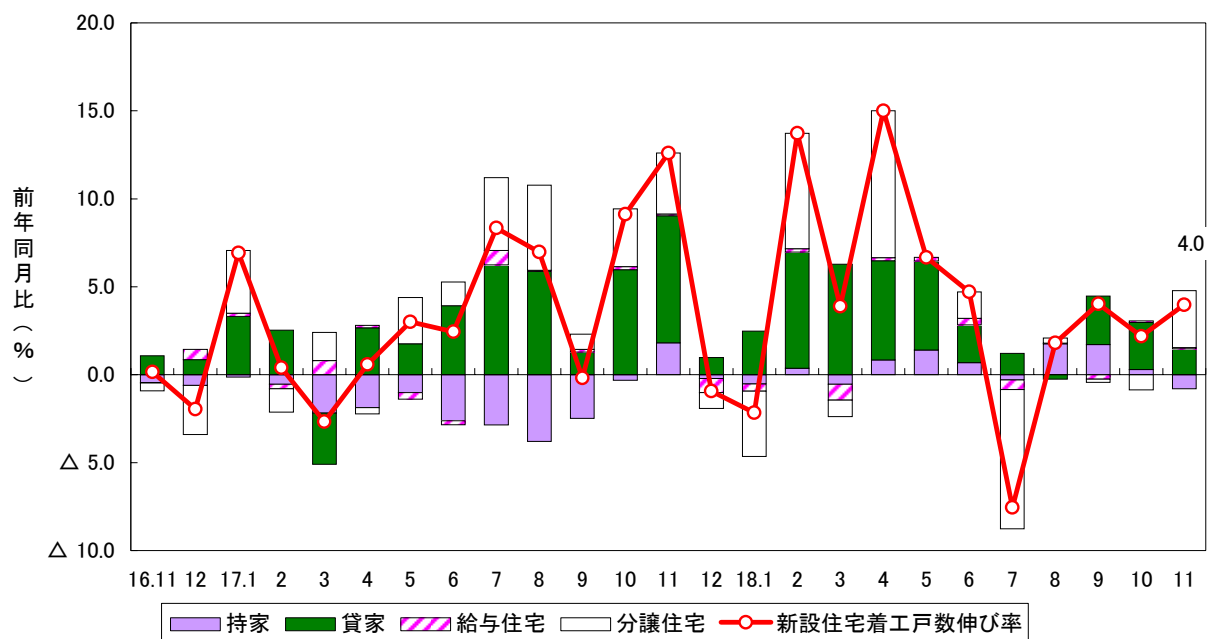
11月の着工は115,392戸。前年同月比で見ると、持家は減少したものの、貸家、分譲住宅が増加したため、全体で4.0%増加（4ヶ月連続）した。

季節調整済年率換算値の推移をみると、平成17年10-12月期1,265千戸（前期比0.8%減）、平成18年1-3月期1,265千戸（同0.0%増）、4-6月期1,298千戸（同2.6%増）、7-9月期1,265千戸（同2.5%減）、10月1,309千戸（前月比0.8%増）、11月1,358千戸（同3.7%増）となった。

新設住宅着工戸数（戸、前年比・%）

区分		総戸数	総計	持家		貸家	分譲住宅		季節調整値 (年率換算) 総戸数 (千戸)
年度年月	公庫 融 資			マ ン シ ョ ン					
年	15年度	1,173,649	2.5	2.1	△ 31.5	0.9	5.6	2.0	
	16	1,193,038	1.7	△ 1.6	△ 52.2	1.9	4.6	2.5	
	17	1,249,366	4.7	△ 4.0	△ 34.1	10.8	6.1	11.2	
月	17年11月	110,986	12.6	6.4	△ 6.7	17.0	12.2	19.7	1,303
	12	97,932	△ 0.9	△ 0.8	△ 15.1	2.3	△ 3.1	△ 2.7	1,169
	18年1月	92,899	△ 2.2	△ 2.1	△ 17.5	6.2	△ 10.8	△ 16.6	1,259
	2	96,995	13.7	1.2	△ 32.9	16.5	21.5	38.1	1,334
	3	94,318	3.9	△ 1.8	△ 26.2	17.2	△ 3.0	△ 4.3	1,224
	4	111,260	15.0	2.6	△ 25.6	14.3	30.0	55.8	1,335
	5	108,652	6.7	4.5	△ 25.7	13.1	0.0	0.6	1,294
	6	114,331	4.7	2.2	△ 30.4	5.2	5.4	9.4	1,282
	7	106,649	△ 7.5	△ 1.0	△ 24.8	3.1	△ 25.5	△ 38.3	1,209
	8	111,187	1.8	6.1	△ 26.1	△ 0.6	1.0	1.1	1,296
	9	112,442	4.0	6.0	△ 28.1	6.8	△ 0.7	△ 2.4	1,298
10	118,360	2.2	1.2	△ 35.6	6.2	△ 2.9	△ 4.1	1,309	
11	115,392	4.0	△ 3.0	△ 36.1	3.3	11.3	16.6	1,358	
累計	4月～11月	898,273	3.6	2.3	△ 28.9	6.1	1.3	2.0	—

新設住宅着工戸数の伸び率と利用関係別寄与度



資料：国土交通省「建築着工統計調査」

<持家>

11月の着工は28,790戸。すべての地域で減少し、全体では前年同月比3.0%減少(4ヶ月ぶり)した。

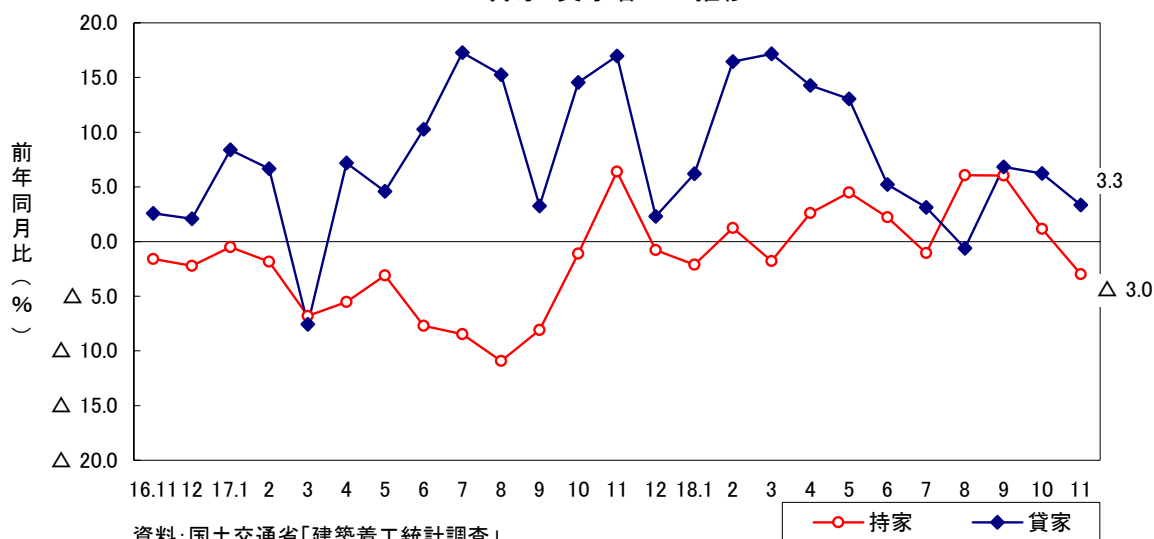
<貸家>

11月の着工は50,754戸。北海道、北陸、中国、四国及び沖縄では減少、その他の地域では増加し、全体では前年同月比3.3%増加(3ヶ月連続)した。

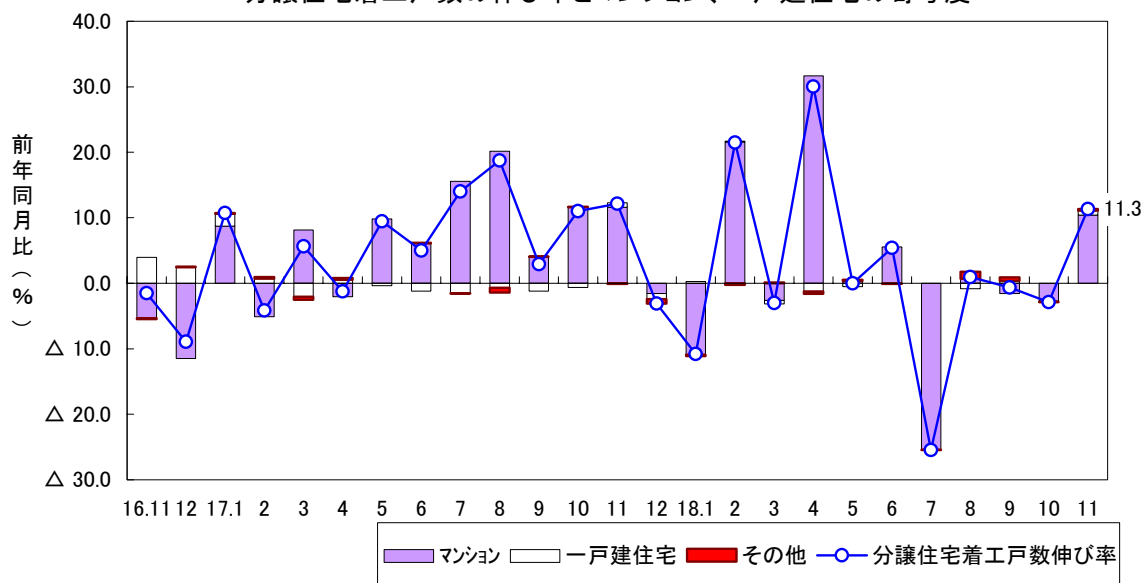
<分譲>

11月の着工は35,096戸。北海道、東北、近畿及び中国では減少、その他の地域では増加し、全体では前年同月比11.3%増加(3ヶ月ぶり)した。マンションは23,077戸で、首都圏は増加(11,466戸、前年同月比30.6%増、先月の減少から再び増加)、中部圏は増加(2,045戸、同110.8%増、先月の減少から再び増加)、近畿圏は減少(4,078戸、同20.5%減、先月の増加から再び減少)、その他の地域は増加(5,488戸、同11.6%増、4ヶ月ぶり)し、全体では同16.6%増加(3ヶ月ぶり)した。一戸建住宅は11,815戸で、同1.9%増加(先月の減少から再び増加)した。

持家・貸家着工の推移



分譲住宅着工戸数の伸び率とマンション、一戸建住宅の寄与度



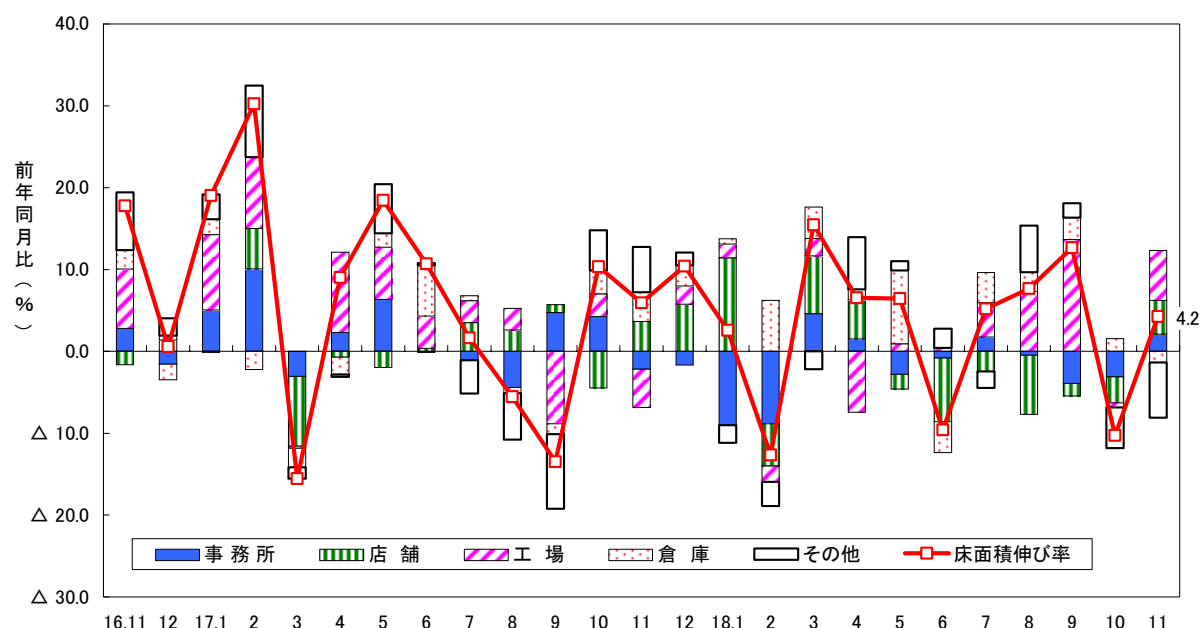
(4) 民間非居住建築

11月の着工床面積は554万㎡で、前年同月比4.2%増加（先月の減少から再び増加）した。

着工床面積を用途別にみると、事務所は54万㎡で前年同月比26.5%増加（4ヶ月ぶり）、店舗は109万㎡で同25.1%増加（7ヶ月ぶり）、工場は124万㎡で同35.5%増加（先月の減少から再び増加）、倉庫は72万㎡で同8.9%減少（5ヶ月ぶり）した。

日本銀行「全国企業短期経済観測調査」（平成18年12月実施）で平成18年度の設備投資計画をみると、製造業（大企業）は前年度比16.5%増加（平成17年度 前年度比13.9%増加）となり、非製造業（大企業）は同10.1%増加（平成17年度 同3.8%増加）となった。また、全産業（大企業）の生産・営業用設備判断DI（過剰-不足）をみると、「最近」は-2、「先行き」は-2となり、設備過剰感は改善傾向にある。

民間非居住用建築物着工床面積の伸び率と用途別寄与度



区分		床面積					工事費予定額				
		総計	事務所	店舗	工場	倉庫	総計	事務所	店舗	工場	倉庫
年	15年度	8.0	11.2	2.5	13.7	9.4	8.8	25.1	△ 5.0	16.8	17.3
	16	13.8	9.6	7.5	36.0	8.8	9.7	7.1	8.5	44.2	5.1
	17	3.8	△ 4.4	9.7	6.8	16.3	6.2	△ 9.6	17.0	13.2	17.6
月	17年11月	5.9	△ 20.6	26.5	△ 20.4	29.3	8.3	△ 28.1	21.2	△ 10.3	25.2
	12	10.4	△ 15.7	32.5	11.2	23.5	15.0	0.1	16.1	25.4	16.7
	18年1月	2.6	△ 54.4	97.0	7.1	5.8	△ 7.9	△ 66.3	110.4	5.0	2.9
	2	△ 12.7	△ 52.0	△ 25.1	△ 9.0	77.3	△ 18.3	△ 71.4	△ 19.9	14.5	80.5
	3	15.4	41.6	44.4	10.7	27.8	23.7	68.8	23.9	37.9	36.5
	4	6.5	16.3	28.2	△ 24.0	10.3	18.8	54.6	49.7	△ 13.6	8.3
	5	6.4	△ 19.8	△ 10.7	3.9	71.1	△ 1.4	△ 36.1	△ 21.3	17.6	61.8
	6	△ 9.6	△ 8.2	△ 36.6	2.0	△ 21.6	△ 9.5	△ 18.9	△ 41.4	△ 7.3	△ 14.2
	7	5.2	17.7	△ 12.0	19.9	28.0	2.8	36.6	△ 8.7	16.0	40.8
	8	7.7	△ 4.3	△ 34.9	37.2	16.7	14.9	18.5	△ 26.5	63.4	19.0
	9	12.7	△ 28.4	△ 8.1	78.4	22.4	10.7	△ 34.7	△ 2.4	76.9	22.3
10	△ 10.3	△ 24.9	△ 20.7	△ 2.8	12.4	△ 0.2	△ 31.8	△ 32.2	△ 9.6	30.3	
11	4.2	26.5	25.1	35.5	△ 8.9	19.5	49.8	59.7	42.7	2.7	
累計	4月～11月	2.4	△ 6.5	△ 11.1	13.2	13.1	6.2	△ 5.3	△ 8.4	17.6	19.4

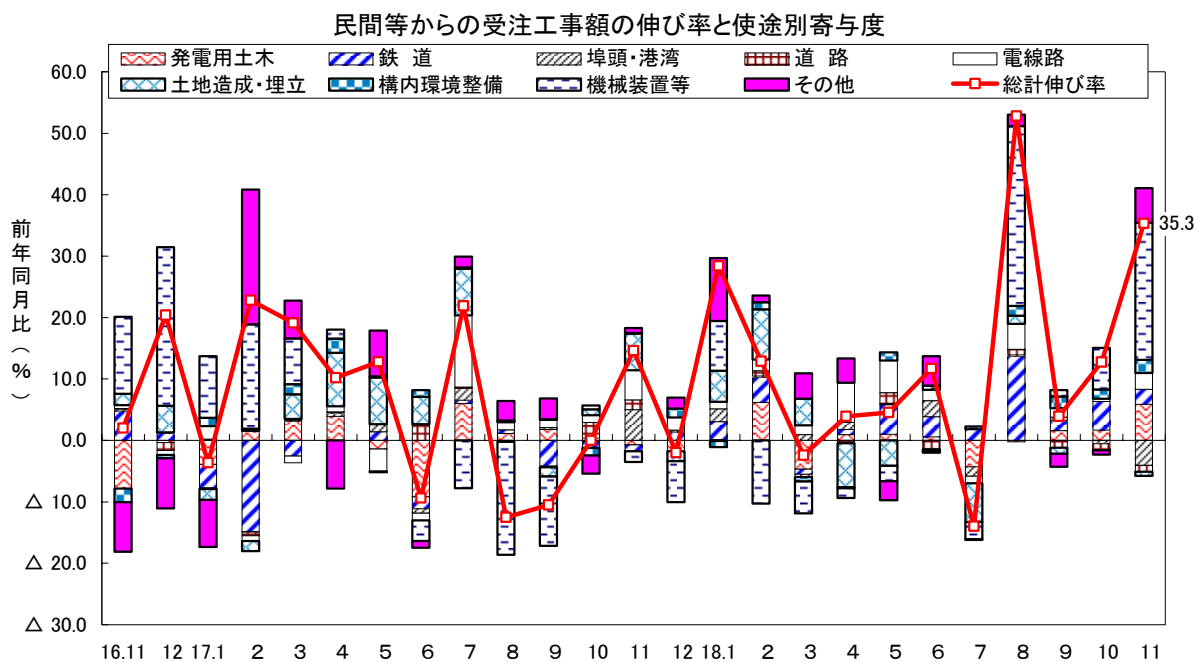
資料：国土交通省「建築着工統計調査」

(5) 民間等からの受注工事（土木工事及び機械装置等工事）

11月の土木工事及び機械装置等工事の受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は2,818億円で、前年同月比35.3%増加（4ヶ月連続）した。

発注者別でみると、製造業（前年同月比61.7%増、寄与度+18.4）、電気・ガス・熱供給・水道業（同87.0%増、寄与度+14.6）等が増加し、情報通信業（同23.2%減、寄与度-3.4）、鉱業、建設業（同72.8%減、寄与度-3.2）等が減少した。

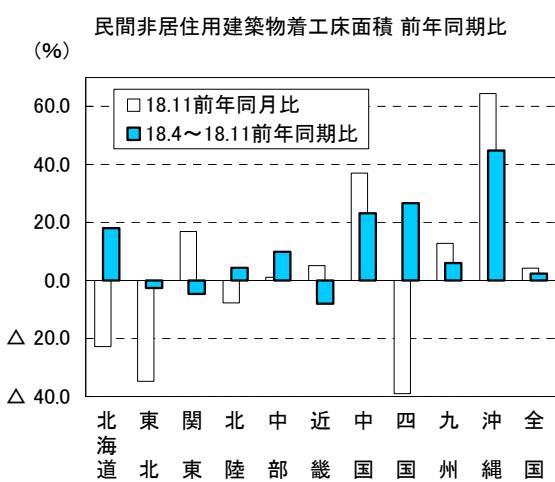
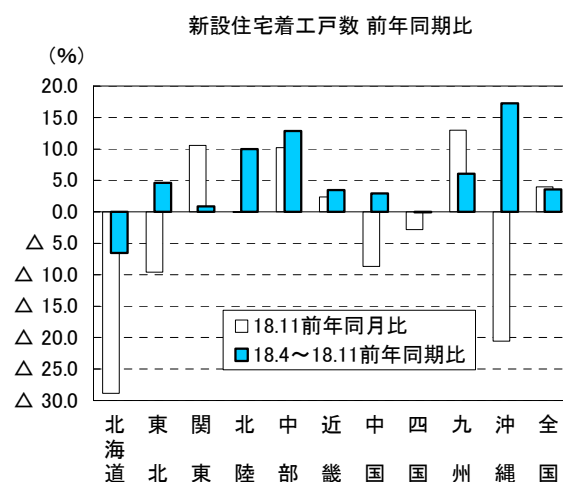
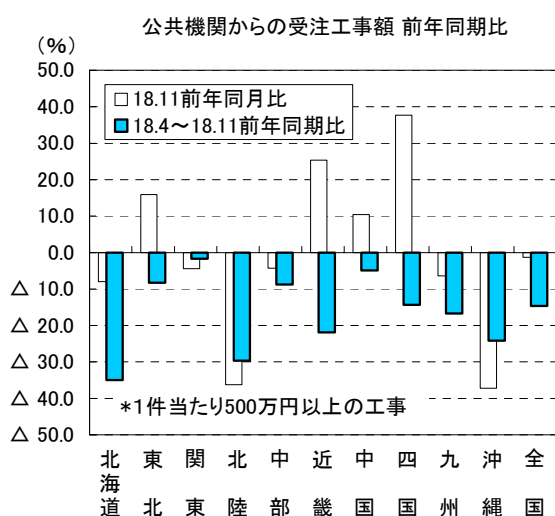
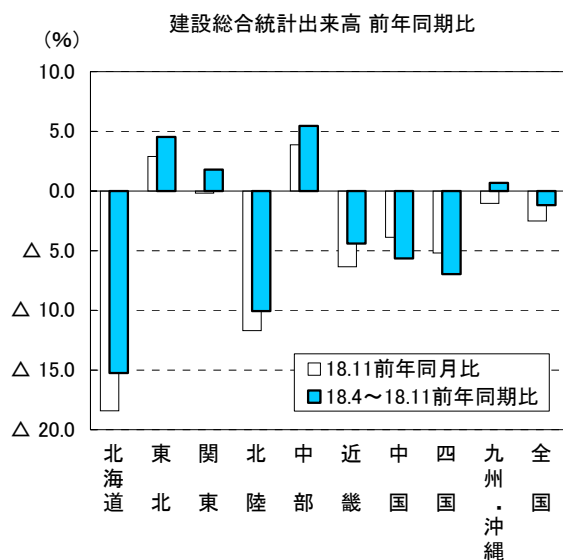
工事種類別でみると、機械装置等工事（寄与度+22.3）、発電用土木工事（寄与度+5.9）等が増加し、埠頭・港湾工事（寄与度-4.1）、道路工事（寄与度-1.0）等が減少した。



		(前年比・%)								
		総計	発電用土木	鉄道	埠頭・港湾	道路	電線路	土地造成・埋立	構内環境整備	機械装置等
年	15年度	1.4	2.5	△ 8.2	△ 34.1	7.8	5.6	0.6	41.0	△ 1.7
	16	5.5	4.7	△ 11.4	4.6	△ 5.9	△ 15.2	7.8	△ 0.8	30.9
	17	3.6	△ 5.3	△ 0.8	120.6	38.1	18.0	51.0	7.2	△ 11.9
月	17年11月	14.6	△ 22.7	△ 5.8	705.2	116.1	42.0	92.6	3.0	△ 4.0
	12	△ 2.0	△ 54.3	10.9	44.8	△ 7.3	23.8	△ 17.4	60.6	△ 13.6
	18年1月	28.4	5.9	23.1	218.7	△ 10.1	6.4	79.5	△ 26.0	18.6
	2	12.9	231.7	36.0	31.6	120.0	20.5	161.9	50.7	△ 19.4
	3	△ 2.4	△ 76.1	△ 3.3	133.7	△ 36.9	25.8	49.5	△ 30.6	△ 14.4
	4	3.9	23.4	6.2	103.6	△ 28.0	43.9	△ 49.4	△ 3.1	△ 4.8
	5	4.6	87.7	46.1	9.8	256.8	75.1	△ 32.7	30.2	△ 6.2
	6	11.7	37.9	21.3	333.6	△ 41.1	14.2	△ 2.8	△ 5.7	1.8
	7	△ 14.0	△ 68.6	17.0	△ 66.4	4.1	△ 5.7	△ 52.3	12.5	△ 8.7
	8	52.8	△ 7.6	81.5	21.8	57.7	33.3	14.2	44.2	79.1
	9	3.9	39.0	10.1	81.9	△ 42.1	13.9	△ 11.5	84.1	2.9
10	12.7	130.7	36.2	△ 38.9	△ 32.7	3.1	△ 0.6	52.8	16.2	
11	35.3	276.9	16.3	△ 81.9	△ 40.2	18.7	△ 6.0	85.0	61.9	
累計	4月～11月	11.5	22.9	28.1	△ 12.3	△ 15.0	17.4	△ 22.5	30.4	15.2

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

(6) 地域別動向



区分	受注・着工					企業 倒産 件数 4月~12月	労働			
	建設 総合 統計 4月~11月	公共機関	民間非	新設	民間等		建設技能 労働者不足率 (6職種計・原数値)		有効求人 倍率 (季調済)	
		受注 4月~11月	居住用 建築物 4月~11月	住宅 4月~11月	(土木・機械) 受注 4月~11月		11月		11月	
地域	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	%	対前年増減	倍	対前月増減	
北海道	△15.2	△35.0	18.1	△6.6	△9.4	7.7	3.5	0.8	0.57	△0.02
東北	4.5	△8.3	△2.6	4.6	18.5	12.5	1.8	△0.3	0.86	0.01
関東	1.8	△1.7	△4.7	0.9	15.4	△7.4	6.2	3.0	1.20	△0.01
北陸	△10.1	△29.7	4.3	10.0	23.9	17.9	2.6	2.0	1.34	0.00
中部	5.5	△8.8	9.9	12.8	△9.6	22.1	3.0	0.2	1.64	0.04
近畿	△4.4	△21.9	△8.0	3.5	24.9	12.2	2.4	1.5	1.12	0.00
中国	△5.6	△4.9	23.2	2.9	7.3	71.2	2.4	2.6	1.21	0.00
四国	△7.0	△14.3	26.6	△0.1	△15.3	81.1	1.7	0.5	0.91	0.02
九州	0.7	△16.7	6.0	6.1	26.8	14.8	2.3	△0.4	0.79	0.01
沖縄	—	△24.2	44.8	17.2	9.0	120.0	1.0	1.0	0.43	△0.03
全国	△1.2	△14.7	2.4	3.6	11.5	10.3	3.0	0.9	1.06	0.00

資料：国土交通省「建設総合統計」、「建設工事受注動態統計調査」、「建築着工統計調査」、「建設労働需給調査」、
帝国データバンク「全国企業倒産集計」、厚生労働省「一般職業紹介状況」

注) 建設総合統計の「九州」欄は、沖縄を含む値となっている。
建設技能労働者不足率は、プラスは不足、マイナスは過剰を意味する。
労働に関する指標の対前年増減、対前月増減の単位はポイント。